

「クラシノコアゲ応援団 2017 街頭行動」 第 17 弾

働き方や処遇改善をはかり負の連鎖をSTOP。

～地方創生へつなげよう！～

連合福島2017クラシノソコアゲ応援団街頭キャンペーン第17弾は、9月7日（木）17時から福島駅東口ユニックスビル前にて街頭行動を行った。



雨中での開催となった、17回目の街頭行動

冒頭、クラシノソコアゲ応援団長の今泉 裕会長は「連合福島は、すべての働く者の底上げ・底支えを求め、継続して運動しているが、やはり背景にある今後の人口動態を注視しなければならない。



主催団体挨拶 連合福島今泉裕会長

人口減少は、地域や自治体存続にも影響を及ぼす。その意味で県都福島市においても産業・経済・雇用の側面から、活力を取り戻す政策を重視し、創生を確実なものにしていかなければならない。中央と地方の格差、そして大手と中小の格差が広まっており、また非正規（不安定雇用）で働く人も拡大をしており格差問題は深刻を極めている。懸念すべきは非正規で働く方の多くが低所得であるということであり、将来設計など安心できる水準でないことなど貧困の問題は。さらには既婚率の低下や少子化につながるなど負の連鎖は否定できない。そして、こども教育への影響も、親から子への連鎖という点で、考慮していかなければならない。国内経済の縮小、産業革命や働き方改革など様々な要因における経済環境の変化と向き合う時代となり、難しさと厳しさが生ずる状況にある。連合福島は、すべての働く者を守る労働者保護ルール改悪を阻止し、また最低賃金も22円引きあがることになったがまだまだ低い748円、引き続きこの大幅アップに取り組んでいく。奨学金問題は、教育を受けるためのセーフティネットとして無利子の方向性になったが、願わくば返済しなくても済むような無償化を求めたい。連合福島は、すべての働く者が報われ、安心して暮らせる社会実現を求め行動していく。皆さんの賛同をお願いしたい」と雨の中、街頭に訴えた。

当初から行動を共にする民進党福島県連からは代表代行の金子恵美衆議院議員が「党としてチー



左から「連帯挨拶」をいただいた民進党福島県連代表代行金子恵美衆議院議員、「労働相談」を呼びかけた連合福島遠藤章副会長、「奨学金制度の拡充」を訴えた県労福協佐久間通事務局長

ム一丸となり働く皆さんの働き方改善に向け力を注いでまいりたい」と連帯の挨拶を行い、連合福島・遠藤章副会長が、長時間労働に起因する健康問題や現場で起きている労働問題についての労働相談への電話を呼びかけた。そして、共同行動する県労福協から佐久間通事務局長から奨学金制度の制度拡充へのアピールを行い、街頭行動を締めくくった。